

令和 8 年度
前期日程

小論文

社会システム経営学環

問題冊子

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 本冊子は大問Ⅰ・Ⅱの2問題および各問題の後に付した下書用紙の合計10ページである。
3. 試験中に、落丁、乱丁、印刷不鮮明、汚れなどに気がつき、解答にさしさわった場合には、直ちに試験監督者に申し出ること。
4. 受験番号は、5枚の解答用紙のそれぞれの指定された場所に、必ず記入すること。
5. 解答は、解答用紙の指定箇所に、正確な、読みやすい字で記入すること。
6. 解答用紙は、必ず提出すること。
7. 問題冊子は、持ち帰ること。
8. 大問ごとに、満点に対する配点の比率(%)が表示してある。

I 以下の文章は、相良奈美香『行動経済学が最強の学問である』（SB クリエイティブ、2023年）の一部である（一部改変）。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（配点比率 50%）

（著作権許諾の都合により過去問としての配布不可）

(著作権許諾の都合により過去問としての配布不可)

問1. 下線部 (a) に関して、なぜコピー2の方が大学生の食生活の改善に役立ったと考えられるか。システム1とシステム2をふまえてその理由を説明しなさい。(200字以内)

問2. あなたは、下線部 (b) にある、マクドナルドの施策は成功したと考えるか。それとも、失敗したと考えるか。システム1とシステム2をふまえながら理由とともに説明しなさい。(240字以内)

Ⅱ 以下の文章は、末松広行『食料自給率の「なぜ？」～どうして低いといけないのか？～』（扶桑社新書、2008年）の一部である（一部改変）。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（配点比率50%）

私は子供のころから鉄道の旅が好きで、新幹線・在来線と乗り継いで全国各地いろいろなところを旅した。窓の外一面に広がる青々とした水田の風景は、当時も今も日本の美しさとして心にしみてくる。ところが、ある時期から美しい水田の間にショッピングセンターや工場などの施設が立っているのを見かけるようになった。さらにその後、何らかの施設が立っているわけでもないのに、荒れている農地も目にするようになってきた。

食料自給率の低下にともなって、日本は肥満や生活習慣病といった新たな健康上の問題を抱えるようになってしまったわけであるが、問題はそれだけではない。農業にとってもそのさまざまな役割を果たせなくなるような事態が進行していることが危惧される。

例えば、水田は私たちに主食の米を供給してくれる大切な農地である。しかし、水田の役割はそれだけではない。畦を持ち、一定の水を貯留する仕組みを持つ水田には、洪水や土砂崩れを防いで国土を保全する働きと、地下水を貯える、空気をキレイにするという働きがある。

つい最近、和歌山県議会の方が訪ねてこられたとき、こんな話をされていた。

「最近、大洪水とまではいかないが、河川がすぐに氾濫するようになった。なぜ氾濫するようになったか、海沿いの町に住む人はわかっている。それは、山のほうの水田が耕作放棄されて、水田の保水機能が働かなくなったからだ。しかし、それは、水田が荒れてはじめてわかったこと。だから、それまで水田が洪水を防いでくれるからといって、お米代にプラスしてその保水機能分の代金を払っていたかといえばそんなことはない。また、洪水を防止するために河川工事をして堤防を高くしなければならぬが、高い堤防が張りめぐらされると街の美観を損ねる。そこで、市民の皆さんは、再び気づいた。堤防の工事も大切だけど、田んぼを維持していくほうが安上がりだし、景色もいいのだと」

農業というのは、基本的に米や野菜を作ってそれに代金が支払われ、産業として成り立っている。しかしそれと同時に、和歌山県の例をはじめ、実際には金銭的なやり取りが行われはしないが、優れた役割を果たしている。こういった「外部経済効果」について、農林水産省や学者の間ではずいぶん前から議論・検討されてきた。

外部経済効果とは、ある経済主体の経済活動が、市場を介さずに、他の経済主体の経済活動に及ぼす効果のことである。つまり、農産物を生産し販売するという経済活動のついでに、お金をもらわないのにいいこと（洪水を防ぐ、など）をしてあげているということである。反対は「外部不経済」であり、公害などが典型例とされる。水田が持つ食料供給以外のそういった外部経済効果、このことは「多面的機能」として評価されるようになってきている。当然、水田だけではなく、畑地や森林とか里山など、農村地帯全体が、いろいろな多面的機能を果たしている。

『食料・農業・農村基本法』（平成11〔1999〕年制定）では多面的機能の定義を、農業・農村が果たしているさまざまな機能のうち「農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、食料その他の

農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能」としている。農業の価値を理解していただくうえでも、多面的機能というものがキチンと定義づけられたことは重要なことである。

ここで、水田や畑の具体的な機能について説明しておきたい。

日本はアジア・モンスーン気候で世界のなかでも降水量は多く、集中豪雨や台風にともなう大雨の危険にさらされている。そういった日本の自然のなかで、水田や畑は、雨水を一時的に貯めこみ徐々に河川に流すことで、洪水を軽減・防止し、国土を守り続けてきた。仮に農地がなかったとしたら、日本の地形は急峻なので、一気に川から海に水が流れ出し、頻繁に大変な災害をもたらしていたことだろう。

河川流域に水田や畑があるほうがない場合に比べて、河川への流量がピークに達するまでの時間が長く、しかもピーク時の流量は少なくなる。中山間地域にある田畑にいたっては、洪水だけでなく、大雨による土壌の流出や地すべりを防ぐ働きも担っている。

また、水田には水資源の循環装置の役割もある。

水田にはられた一部の水はゆっくりと地下に浸透し河川へ流れ出て再び別な水田に利用される。また一部はさらに深い地下に浸透し、下流域の工業用水や生活用水に活用されている。仮に水田がなかったら、雨は短時間に流れてしまい、日本は今よりも降雨量の多い少ないに振り回されることになっていただろう。

(中略)

今の日本では、農業の活力がなくなり耕作放棄地が増大しているが、それにともなって国土を守る大事な力が失われているのである。

ひとたび作物を作るのをやめ放置すると、すぐに雑草や灌木などが生え始めてしまう。いったん荒れた耕地を復活させるためには、除草や復田作業などで、大きなコストがかかる。放棄された耕地の回復も重要なことであるが、何よりも放棄されないように農業を継続すること、そのための努力を各方面からすることが大切であろう。その一つが国内で生産された農産物が国内でキチンと消費されることであると思う。

問1. 農業・農村が果たしている多面的機能について、本文で述べられている例を挙げて説明しなさい。(120字以内)

問2(1). 農業・農村が果たしている多面的機能について、本文で述べられていない例の一つを挙げて説明しなさい。(120字以内)

問2(2). あなたが問2(1)で挙げた多面的機能を活用して、耕地が放棄されることを防ぐための対策を考えなさい。(300字以内)

(社会システム経営学環・前期日程)

下書用紙(5)

Ⅱ 問2(2).
(300字以内)

	5	10	15	20	
					(100字)
					(200字)
					(300字)

